

●特集 2：ロボカップ 2017

ロボカップ・ジャパンオープン

中京大学 工学部 機械システム工学科 教授 佐藤 俊郎
中京大学 工学部 機械システム工学科 教授 沼田 宗敏



ロボカップ・ジャパンオープン 2017（5月4—7日、愛知県立大学長久手キャンパス、主催ロボカップ日本委員会、共催：人工知能学会・日本ロボット学会など）で、中京大学工学部学生選抜チーム Chukyo RoboStars がサッカー小型リーグ（ヒト型）で3位入賞した。

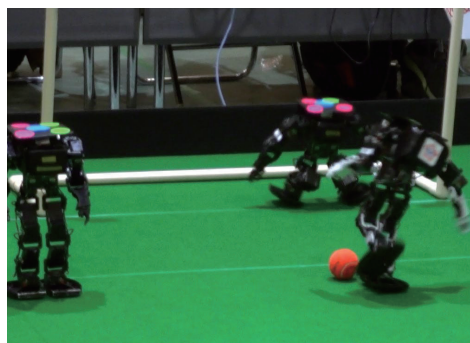
ロボカップ・ジャパンオープンはロボカップサッカー、ロボカップレスキュー、ロボカップ@ホームの3部門から構成され、工学部学生選抜チーム Chukyo RoboStars など6チームがロボカップサッカーのサッカー小型リーグ（ヒト型）に出場した。本リーグでは天井近くに設けられたTVカメラからの画像信号を用いて、全自動の2足歩行ロボット3台からなるチームどうしが自ら「見る」、「考える」、「動く」ことによりサッカーを行う。試合中は、コンピュータやロボットはもちろん、リモコンさえ触ることができない。

Chukyo RoboStars は早々と昨年のチャンピオンチーム KIKS（豊田高専）を退けるなど、全試合無失点の2位で予選を通過したものの、準決勝で ODENS（大阪電通大）に敗れた。3位決定戦は昨年準優勝の強豪 Ai-Robots と中京大学チームどうしの対戦となったが、Chukyo RoboStars はペナルティキックで1点を先取し3位入賞を果たした。

チーム Chukyo RoboStars は中京大学工学部「プロジェクト活動助成」と人工知能高等研究所「Aiロボットプロジェクト」助成の支援を受けている。チームリーダーの中村仁美さん（工学部4年）は、卒業研究と就職活動でなかなか時間のとれない4年生メンバーが大半のチームをまとめあげ入賞に導いた。今後は研究成果をまとめ工学部に報告する。

■ 出場メンバー

中村仁美（キャプテン）、山口剛（副キャプテン）、近藤弘和、山名裕之、菊浪雄貴、小林明暉、月山祐太、浅野司（以上工学部4年）、長谷川英樹（大学院2年）、近藤雄基（AI研研究員）、福島賢二（技術職員）、佐藤俊郎（共同監督）、沼田宗敏（共同監督）



シュートを決める Chukyo RoboStars



表彰される中村キャプテン・山口副キャプテン